

総合整備計画書

石川県鳳珠郡能登町	中斉	辺地
(辺地の人口	102	人)
(辺地の面積	7.8	km ²)

1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町または字の名称 鳳珠郡能登町字 中斉
- (2) 地域の中心の位置 鳳珠郡能登町字 中斉字部82番地
- (3) 辺地度数 125 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

当該辺地は、山間へき地に位置し、過疎化が進んでいる地域である。

生活面において、公共交通機関は住民混乗スクールバスのみであり、1日の運行本数も少ないことから通勤通学、高齢者の社会福祉施設等への通所、その他あらゆる日常生活に自動車は欠かすことができない。また少子化による小中学校の統廃合により、住民混乗スクールバス、あるいは個々での自動車送迎が増加している。

このような背景を基に、町道改良による国県道等広域幹線道路へのアクセス性の改善や、幅員狭小部や視距不良部等の交通危険個所の解消を行うことで住環境の改善を図り、高齢者や子供たちにとって住みよい計画的な土地利用の推進を図る必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和5年度～令和9年度までの5年間

(単位：千円)

区 分		事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額
施設名	事業主体		特定財源	一般財源	
[交通通信] 町道	能登町	70,000	40,950	29,050	28,900
合	計	70,000	40,950	29,050	28,900

総合整備計画書

石川県鳳珠郡能登町 木郎 辺地
 (辺地の人口 298 人)
 (辺地の面積 15.9 km²)

1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町または字の名称 鳳珠郡能登町字 木郎(田代・駒渡、時長、山中・満泉寺、国重)
- (2) 地域の中心の位置 鳳珠郡能登町字 時長43字12番地4
- (3) 辺地度数 105 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

当該辺地は、山間へき地に位置し、過疎化が進んでいる地域である。
 木材価格の低迷・後継者の不足等により山林の管理不足による荒廃が進んでいる現状から、森林の適正な管理や林業経営の安定を図るためにも、林道網の整備を進める必要がある。
 また、この地区の森林の利用区域面積は114haであり、森林の適正な管理や効率的な林業経営を図るほか、河ヶ谷地区と程谷地区を結ぶアクセス路、営農面での道路機能として利用するため、整備を進める必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和5年度～令和9年度までの5年間

(単位：千円)

区分		事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額
施設名	事業主体		特定財源	一般財源	
[交通通信] 林道	能登町	24,200	9,600	14,600	14,600
合	計	24,200	9,600	14,600	14,600